

令和元年10月12日 台風19号に伴う出水で
やぎさわ ならまた ぼうさいそうさ
矢木沢ダム・奈良俣ダムは、防災操作を行いました。

防災操作により

矢木沢ダムに貯留（約863万 m^3 ）、奈良俣ダムに貯留（約215万 m^3 ）

矢木沢ダム流域では、10月12日1時頃から13日18時までの累計で、193.0mmの降雨量を観測しました。

この降雨によって、ダムへの流入量が増えたことにより、12日15時50分に流入量が洪水量（毎秒100立方メートル）に達したため、防災操作を実施し、ダムに約863万立方メートルを貯留しました。

奈良俣ダム流域では、10月11日1時頃から13日13時までの累計で、153.6mmの降雨量を観測しました。

この降雨によって、ダムへの流入量が増えたことにより、12日17時00分に流入量が洪水量（毎秒80立方メートル）に達したため、防災操作を実施し、ダムに約215万立方メートルを貯留しました。

今後も、矢木沢ダム・奈良俣ダムでは適切に防災操作（洪水調節）を実施し、下流地域の洪水被害の防止・軽減に努めてまいります。

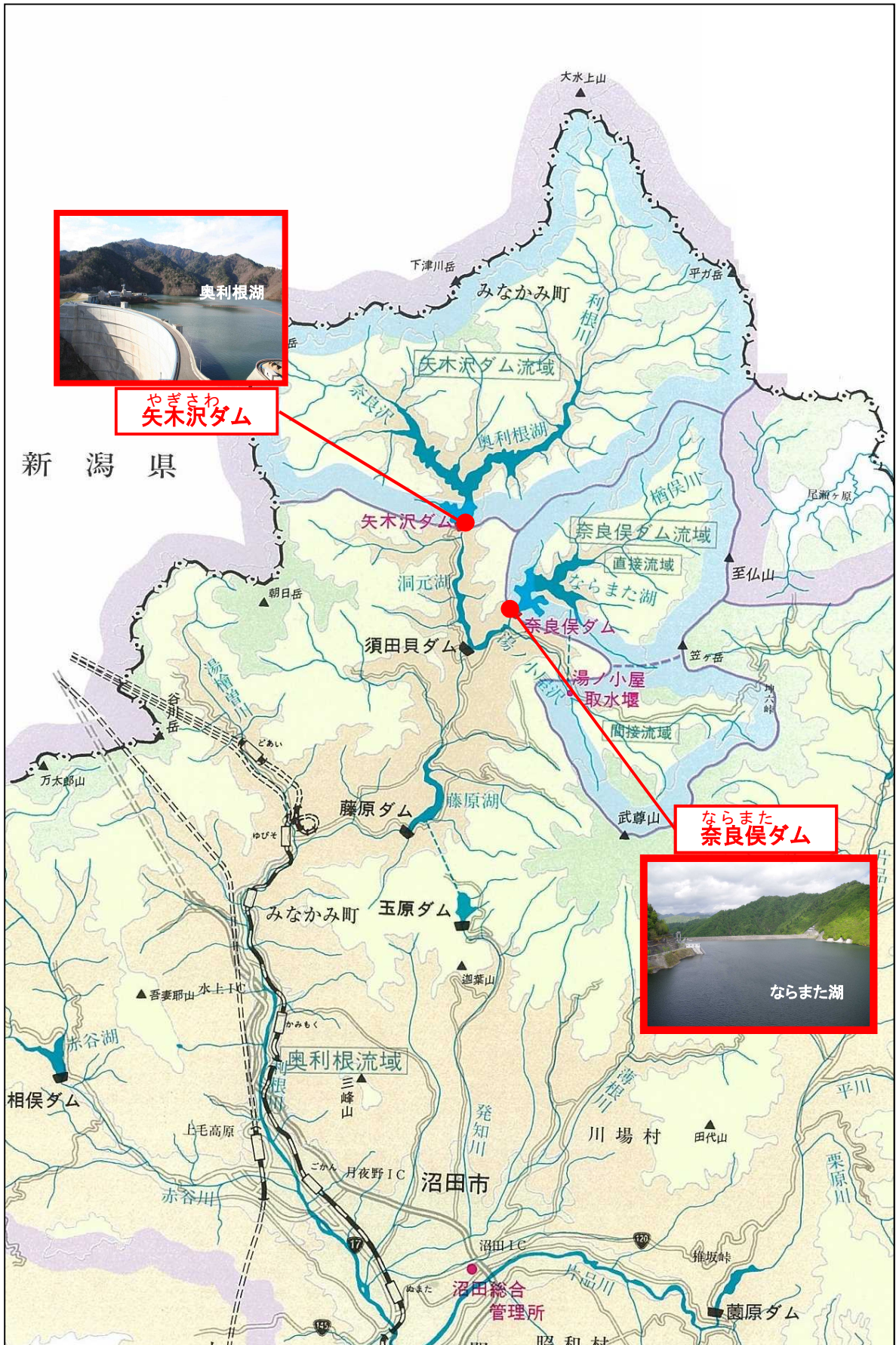
※防災操作（洪水調節）とは、降雨等によりダムに流れ込む水の一部をダムに一時的に貯め込んで、ダムから下流に流れ出す量を減らし、下流の川の水位を低減させることです。

注）数値は速報値です。

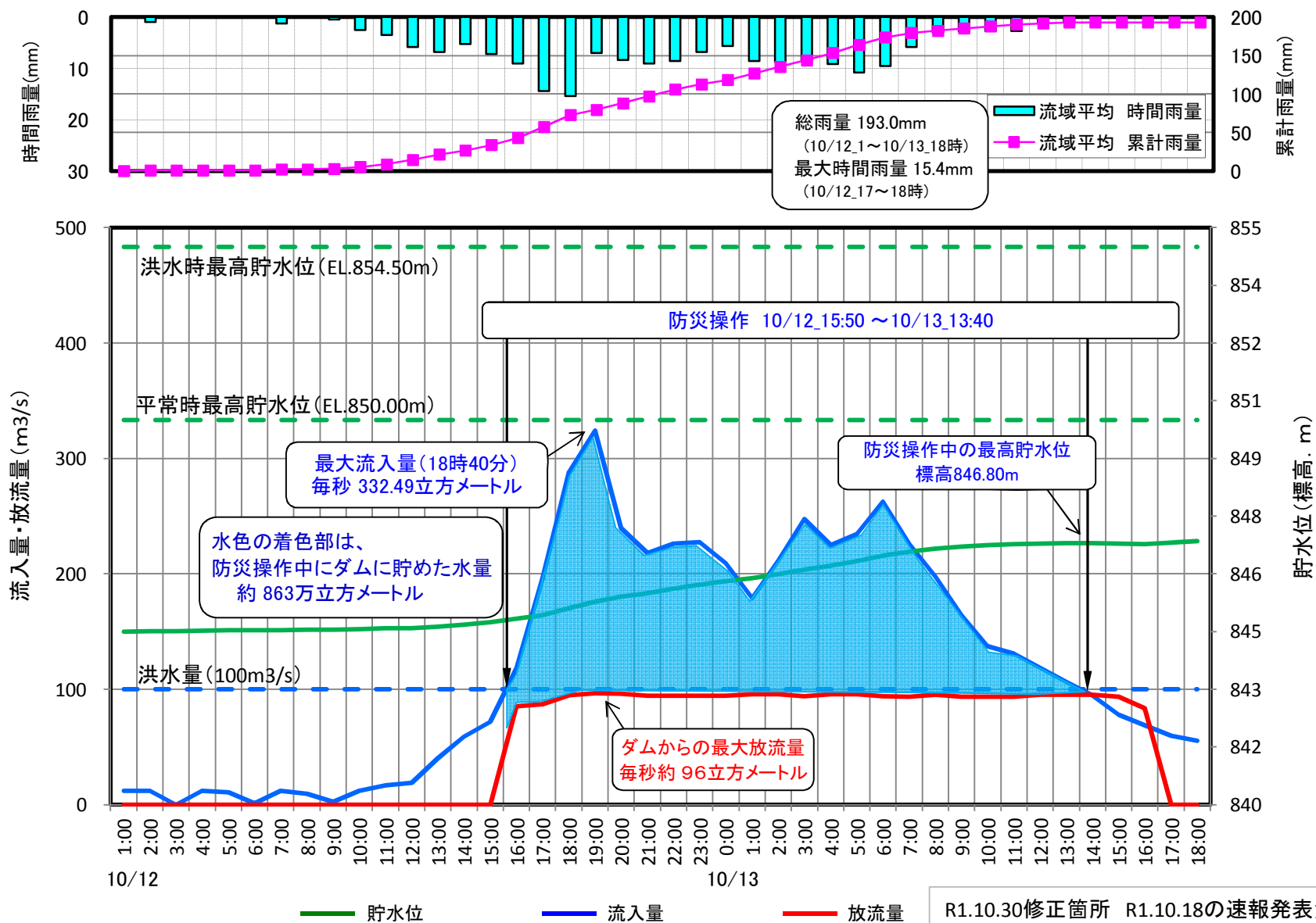
R1. 10. 30修正箇所)

R1. 10. 18の速報発表資料から矢木沢ダム防災操作中にダムに貯めた量（貯留量）を約863万立方メートルに修正しました。

■位置図



■ 矢木沢ダムの防災操作の状況図



R1.10.30修正箇所 R1.10.18の速報発表資料から防災操作中にダムに溜めた水量を修正しました。

■ 奈良俣ダムの防災操作の状況図

